

村田きょうこ マンスリーレポート

<2023 年 4 月号>



皆さん、ご安全に！村田きょうこです。

今年は暖かい日が多かったため、3月下旬あたりから、例年よりも早いタイミングで桜の開花宣言が発表され始めました。永田町の桜も今が見ごろ。議員事務所から国会図書館や皇居のお堀周辺の桜を眺めて、心を癒しています。



議員会館から国会図書館を取り巻く桜を眺める

国会は、予算審議が参議院に移り、いよいよ参議院でも議会活動が本格稼働し始めました。今号では、そんな3月の動向を中心にお伝えします。



1. 3月の議会活動

3月は、公聴会での質疑を1回、委員会での一般質疑を2回、令和5年度予算に対する討論を委員会と本会議でそれぞれ行いました。大臣が目の前に座っている中、予算委員会での初質疑、そして本会議でも登壇させてもらうことができ、忙しかったけれども充実した月となりました。

〔初登壇〕



3/28 本会議での予算案に対する討論

		形態	質疑、討論内容
3/9	予算委員会	公聴会	・今春闘に対する受け止めについて ・構造的な賃上げで持続的に賃金上がるのか ・本予算と補正予算の位置づけ、使い分け
	経済産業委員会	一般質疑	・日本経済とものづくり、人材確保 ・特別高圧契約企業への支援の活用状況
3/20	予算委員会	一般質疑	・賃上げについて ・金利上昇と住宅ローン・奨学金の返済 ・LGBTQ ツーリズム
3/28	予算委員会	令和5年度予算案討論	以下の理由から予算案に反対 ・時代の変化に対応した質の高い防衛力整備が必要 ・中小企業対策費や農林水産関係予算が減少 ・子供子育ての全貌が明らかになっていない ・予算の大前提たる岸田内閣が目指す社会像が不明確
	本会議	令和5年度予算案討論	



2. 特別高圧支援で進展あり！

昨年秋の臨時国会の時から訴えてきた、特別高圧電力に対する政府の支援が前進しました。

加盟組合や企業の方からいただいた切実な声も伝えながら、経済産業委員会で繰り返し「家庭向けの低圧や企業向けの高圧と同じように、特別高圧電力へも支援すべき」という質疑を重ねるうちに、野党だけでなく与党の側からも同様の声が上がりがちめ、3月末に政府が発表した追加の物価高対策に、特別高圧への支援が入ることになりました。

訴え続ければ、野党の声であっても政府や与党議員は聞いてくれるんだ、ということを実感しました。

〔ポイント〕

- ① 「電気・ガス・食料品等価格高騰重点支援地方交付金」として7,000億円を国から地方へ交付
- ② 交付金の使い方の「推奨メニュー」として、特別高圧を明記



3. 3月の国会見学受け入れ 7組 166人



3月3日 コベルコ建機労働組合



3月10日 神戸製鋼所労働組合神戸支部



3月16日 コマツユニオン大阪支部



3月17日 JAM 山陽広島東地区協議会



3月28日 ジャパンマリンユナイテッド労働組合連合会



3月29日 基幹労連エンジニアリング部会



3月31日 JAM ハルホ部会



会議室での懇談・意見交換の様子

今号は以上です。